

目標達成計画

事業所名: グループホームひのき

作成日: 令和 2 年 1 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	施設は身体拘束にあたる為、利用者に対して鍵をかけることがどのようなことかを再度検討してほしい。	開放する時間を確保し、散歩など外に出る機会を多く設け、見守りを強化する。 開放感を感じて頂く。	個々の利用者様のプランに取り入れ、日々実施できるようなケアしていく。	3ヶ月
2	45 (17)	利用者にとっての好タイミングとは、毎日の声かけの中から得られるものなので、連日であっても声かけをし、入浴の情報提供と、選択の機会を作ってほしい。	利用者様の自己決定を尊重できるように支援する。	利用者様に毎日声掛けし、自己決定していただき、入浴の機会を確保していく。	1ヶ月
3	54 (20)	おむつやグローブを居室内の目につく場所に置くことは、利用者の尊厳、プライドを傷つけることにつながるの、保管には配慮ある工夫をしてほしい。	居室内は利用者様のプライバシーに配慮していきたい。	居室を整理・整頓し、収納スペースを作り、カゴに入れ布で覆い、目につかないようにする。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。